

子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)で何を調べるのか

2016年9月16日 15:00～16:30
愛媛大学理学部講義棟31教室



「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」は、子どもがお母さんのお腹にいる時から生まれて成長していく過程で化学物質にさらされる事(ばく露)が、子どもの健康にどのように影響するかを明らかにしていく事を目的とした環境省主導の研究事業です。講演では、調査の概要や、これまでの5年間の調査で分かったこと、エコチル調査の曝露評価における精度管理などについて紹介します。



15:00～15:45 エコチル調査の概要と進捗
中山祥嗣

国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター
曝露動態研究室 室長

15:45～16:30 エコチル調査における曝露評価について
磯部友彦

国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター
曝露動態研究室 主任研究員

主催：愛媛大学沿岸環境科学研究センター
化学汚染・沿岸環境研究拠点 (LaMer)

問い合わせ先：

愛媛大学沿岸環境科学研究センター 化学汚染・毒性解析部門

国末達也 TEL: 089-927-8162, E-mail: kunisue.tatsuya.ew@ehime-u.ac.jp